



# 鳥取県立鳥取盲学校 学校だより

第 4 号  
校 長 岸田 裕子  
令和 4 年 1 2 月 2 3 日

## 文化祭

「輝け鳥盲 笑顔の輪 ワクワドキドキ未来へ向かって」のスローガンのもと、10月1日（土）に文化祭を開催しました。児童生徒会のプロジェクトチームを中心に、文化祭に向けて準備、練習を重ねてきました。

ステージ発表では、国府町探究についての発表や器楽合奏、リズムなぎなた、朗読劇、理療科の魅力を発信するラジオ番組などを発表しました。作品展では、本校児童生徒の作品に加え、地域の小学校と公民館にご協力いただき、交流作品も展示しました。今年度は、規模を縮小し、午前中の開催となりましたが、保護者の方に見守られながら日ごろの学習の成果を十分に発揮しました。ご来場いただき、ありがとうございました。



## 全国盲学校フロアバレーボール大会

7月の中四国地区盲学校体育大会で優勝したフロアバレーボールチームは、夏休み最終日の8月24日～8月26日まで山口県山口市で開催された第6回全国盲学校フロアバレーボール大会に参加しました。試合は各地区を勝ち抜いた9チームと、開催地の計10チームによるトーナメント方式で行われました。本校は九州代表の鹿児島盲学校と対戦、出だし良くリードを奪いゲームを進めましたが、ミスなどが絡んでリズムが乱れると、連続失点によりあっという間に1セットを奪われました。その後もゲームの主導権を握ることができず、セットカウント0-2で敗れ、勝利を手にすることはできませんでした。今大会では果たせなかった勝利を、来年のしずおか大会ではぜひ達成したいです。



## 産業現場等における実習

普通科生徒5名は11月7日（月）から18日（金）までの2週間（普2生徒は16日まで）、専攻科2年1名は11月9日（水）11日（金）、14日（月）の3日間、産業現場等における実習を行いました。

実習先一覧	
普通科	夢工房つぼちゃん（就労継続支援B型）
	nonona（就労継続支援B型）
	みつばちガーデン（就労継続支援B型）
	MIRAIをegaku（就労継続支援A型）
	株式会社センコースクールファーム鳥取
専攻科	障害福祉サービス生活介護 NiCORi
	株式会社 JR 西日本あいウィル米子支店

普通科の生徒たちは指示された作業に集中して取り組む姿が見られました。すべての事業所で複数の業務を体験させていただき、作業への適性、支援依頼の有無、作業方法や手順を考えながらの実習となりました。

専攻科は2つの事業所で機能訓練指導員、ヘルパーの業務を見学・体験させていただきました。学校の治療室での臨床実習とは違う実務を経験し、理療技術だけでなく施術を受ける方への心遣いや言葉かけの大切さを学びました。

実習は日ごろの学習の成果を発揮する機会であるとともに課題に気づく場でもあります。丁寧に振り返りを行い、進路選択につなげていきます。



## マッサージ実習

専攻科理療科では、毎年、生徒による校外での実習活動を行っています。今年度は、11月17日（木）の午後に「株式会社JCBエクセ」にご協力いただきました。

疲労の強い個所を中心に1人15分のあん摩施術を6名の方に体験していただきました。施術を受けていただいた皆様からは「肩や腰がすっきりして楽になりました。」「施術中に楽しく会話もして下さって気持ちよく受けることができました。」「気持ちよかったです。」「15分ですっきりしました。」等の感想をいただきました。

生徒の皆さんは、日ごろの技術面での練習の成果を十分に発揮することができ、体験される方ができるだけリラックスできるようコミュニケーションを取りながら施術する様子が見られました。

専攻科の実習は、今年度もコロナ禍の影響で中止・規模縮小となった活動が多くあります。今回の実習は生徒たちにとっても、貴重な実習となりました。

## 人権教育公開授業・講演会

10月29日（金）に人権教育公開授業と人権教育講演会を、人数を制限して開催しました。公開学習は、人権教育の視点でそれぞれの実態に合わせて授業が進められました。

また、人権教育講演会では、視覚障がい者福祉協会会長の市川正明さんに講話をしていただきました。ご自身の経験をもとに感じられていること、あはきや生活と社会参加に向けての現状、視覚障がいの声や視覚障がい者福祉協会としての働きかけなど、これまでの取組や課題など多岐にわたり、貴重な講話を聞くことができました。



